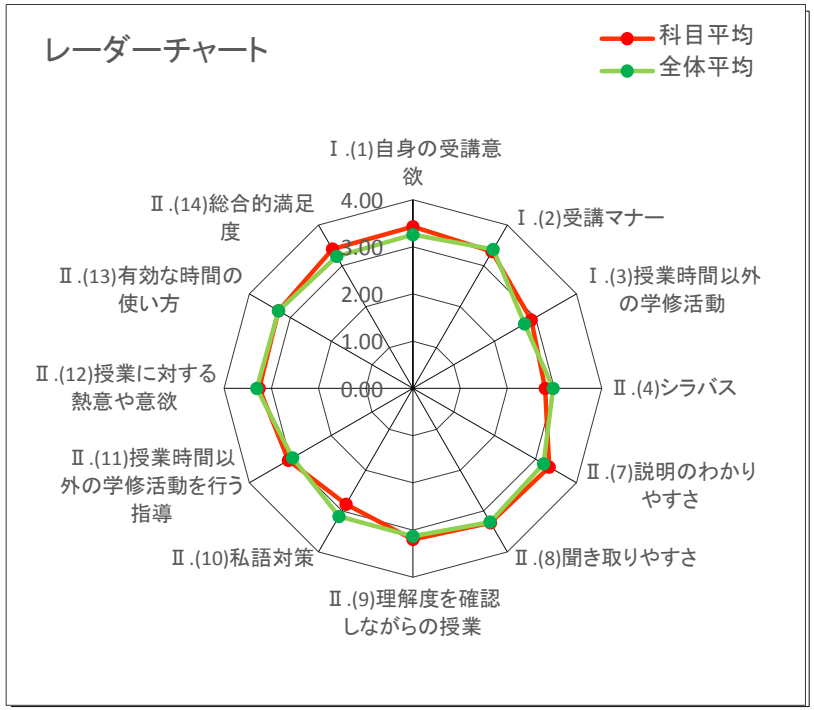
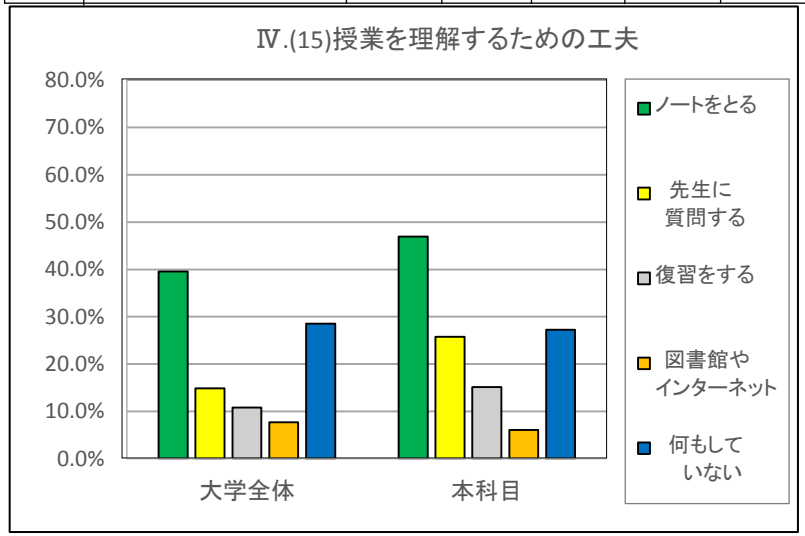
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.42	3.26
	Ⅰ.(2)	3.35	3.40
	Ⅰ.(3)	2.89	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.80	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.33	3.20
	Ⅱ.(8)	3.29	3.27
	Ⅱ.(9)	3.20	3.13
	Ⅱ.(10)	2.83	3.13
	Ⅱ.(11)	3.05	2.94
	Ⅱ.(12)	3.26	3.31
	Ⅱ.(13)	3.29	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.41	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	47.0%	25.8%	15.2%	6.1%	27.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.22	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.13	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.41	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	12101
科目名	発達心理学A（初等）
教員名	

①授業計画の達成度について

講義自体は、設問4において、2.80と、全体平均よりやや低いものの、概ね概要に沿った内容であったと考えられる。また、学習の到達目標、および難易度は、設問5で3.09と全体平均2.93を上回ったため、相対的に難易度は難しいと評価されていた。前回の講義の復習等を増やすことで、難しいと感じる学生への対応を行っていきたい。

②授業の進め方について

説明のわかりやすさは3.33（全体平均3.27）、聞き取りやすさは3.29（全体平均3.27）であり、どちらも全体平均を上回ったが、相対的に平均的であったといえる。学生の理解を確かめながら、授業を進めているかに関しては、3.20（全体平均3.13）であり、こちらも多少全体平均を上回ったが、その差は小さい、その一方で、私語対策に関しては2.83（全体平均3.13）、授業時間を有効に使っているかに関しては3.29（全体平均3.29）、と、平均かそれを下回った。
□

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

総合的満足度は、3.41（全体平均3.23）で平均を上回っており、相対的に本講義は学生に満足感を与えたといっていいだろう。しかし、やや難しい講義内容と受け取られているため、講義の復習や理解度の小テストによるチェックなどをさらに積極的に取り入れて、対応していきたいと考えている。自由記述では、パワーポイントのスライド進行が速いという記述が数名見られため、この点は改善したい。また、本講義では全体平均以上のノートテイキングや先生への質問、復習を学生は行っているものの図書館やインターネットの活用はあまり行わない、という特徴がみられるため、この点の自学に関してさらに徹底した指導を行っていきたい。

奈良学園大学